

# 平成29年度 基本評価調書(別紙様式1 施策評価関連)

施策名	国際理解教育の充実	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 佐藤 寛	施策コード	11 - 08
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-417)	関係課	高校教育課、義務教育課		

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		3 人・地域	(2)	北海道の未来を拓く人材の育成	B	グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成	国際理解教育を行っている公立高校の割合
北海道創生総合戦略	A2422	北海道	強靱化計画	新・北海道	ビジョン	C06303,C06304,C06310,C06401,C06402,C06405 C06406,C06407,C06408,C06506	
特定分野別計画等	北海道教育推進計画						

### 1 目標等の設定

現状と課題	施策目標					
	<p>・人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材とともに、国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要となっている。</p>	<p>・活力ある未来を拓くため、若者の留学支援や世界を舞台に活躍できる人材の育成や、既成概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進する。</p>				
施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	3(2)B	<p>【国際理解教育の充実】                      [国]①生徒の英語力向上推進プランの策定、教員の英語力、指導力向上                      [道]①教員の資質能力の向上を図る研修会の実施 ②グローバルな人材の育成に向けた事業等の実施 ③DVD教材の作成、配付などの条件整備の推進 ④道独自の英語検定の実施による生徒の英語力の向上                      ⑤教員の指導力向上に向けた教員加配 ⑤帰国・外国人児童生徒の受入れ体制の整備等に向けた資料の作成、web掲載など                      [市町村]①各種研修への参加の促進及び成果の還元のための機会の設定 ②                      ネイティブスピーカーや英語に堪能な人材の活用など</p>			H27	26,635
					H28	28,759
				H29	38,903	
今年度の取組	政策体系	今年度の取組		政策体系	今年度の取組	
	3(2)B	◎外国語教育の充実、国際理解・異文化理解教育の充実、帰国外国人児童生徒の教育の充実				

<前年度意見への対応>

<p>前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)</p>	<p>【施策間の連携状況(関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要)】 総合計画における「北海道の未来を拓く人材の育成」を進める観点から、知事部局と教育庁の連携により、より効果的な取組を検討すること。</p>	<p>付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)</p>	<p>総合教育大綱策定の過程において、知事部局と教育委員会の連携を促進し相互に連携を必要とする個別具体的なプロジェクトを着実に進めるため設置された「連携チーム」において、道内の子どもたちの国際感覚を養うための施策について検討を行っていく。</p>

## Do & Check 施策評価

### 1-2 取組の結果

#### (1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	新・北海道ビジョン	
3(2)B	<p>【国際理解教育の充実】</p> <p>◎外国語教育の充実、国際理解・異文化理解教育の充実、帰国外国人児童生徒の教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年を招致し、ALTとして全道に62名配置し、各高等学校において外国語の実践的な指導を行った。</li> <li>・「スーパーグローバルハイスクール」において、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備などに取り組んだ。</li> <li>・学科の特性等に応じて英語の活用場面を想定した3タイプの学習プログラムの開発を通じ、英語学習の意欲や授業改善に取り組んだ。</li> <li>・オールイングリッシュによる生活を体験できる「イングリッシュキャンプ」を6会場で開催した。また、「スーパーイングリッシュキャンプ」を開催し、高校生29名が参加し、国際理解・異文化理解のための体験交流機会の充実を図った。</li> <li>・高校生の留学促進のため、「北海道高校生留学・海外大学進学セミナー」を6月に実施し、30名の高校生及び保護者等が参加した。</li> <li>・「U-18未来フォーラム事業」において、拠点校8校がICTを活用して海外協力校と交流活動を行った。</li> <li>・日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒を円滑に受け入れる体制の整備を図るため、「帰国・外国人児童生徒受入れQ&amp;A」をWebに掲載するとともに市町村教育委員会や学校に指導助言を行った。また、外国人児童生徒の教育の推進に向け、関係する9市町村教育委員会との懇談会を実施した。</li> </ul>	A2422	—	C06303 C06304 C06310 C06401 C06402 C06405 C06406 C06407 C06408 C06506	高校教育課

#### (2) その他の取組の成果等

国等提案・要望状況	<p>次の事項について国に要望を行った。(H29.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体で一定の資質・能力を備えた外国語指導助手を確保することが可能となるよう、JTEプログラムの継続及び拡充</li> <li>・グローバル人材を育成するための事業制度の充実を図る観点から、イングリッシュキャンプの充実を図る財源の措置</li> </ul>	施策に関する道民ニーズ	<p>○世界で活躍する人材育成推進会議における委員からの主な意見(H28.9、H28.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力を高める上で、語学力は大切であり、実際に外国人と会話する機会を少しでも多く確保することが有効と考えられる。</li> <li>・日常的に外国人と触れ合うことのできる機会を確保することが大切である。</li> <li>・特定の地域に偏ることなく、海外の国や地域に対する興味・関心を培い、世界の多様性を理解することが大切である。</li> </ul> <p>これらの意見を踏まえ、英語の活用場面を想定した学習プログラムの開発や英語話者による講演会の実施、ICTを活用した海外協力校との交流事業などの取組に反映している。</p>
-----------	--	-------------	---

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11 - 08
-----	-----------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

## 2 連携の状況

### (1) 施策間・部局間の連携

## 2-2 連携の取組状況

### (1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(2)B	・グローバル人材を育成する取組を推進するに当たり、関係部と連携し、私立高校生を参加対象とするほか、大学関係者を講師として活用。 ・「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」及び「外国人材の活躍促進に向けたプログラム」に基づき、国際分野で活躍できる人材の育成・活用に向けて、知事部局と教育委員会との相互連携により個別具体的なプロジェクトを進めるために個別テーマごとに設置している連携チームにおいて、情報交換や今後の取組について検討を行う。	-	総務部学事課	○ 高校生を対象とした「スーパーイングリッシュキャンプ」に私立高校生1名が参加するとともに、「高校生留学・海外大学進学セミナー」に3名が参加した。 ○ 「知事部局と教育委員会との連携チーム会議」における「国際理解促進チーム会議」において、道内の子どもたちが、外国人と交流するなど国際感覚を養う機会を促進するための取組を協議した。
		N0211	総合政策部政策局総合教育推進室	
		N0212	総合政策部国際課、政策局総合教育推進室	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11 - 08
-----	-----------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

### 3 成果指標の設定

### 3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31					
	国際理解教育を行っている公立高校の割合	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31					・各学校において、海外からの留学生や教育旅行を積極的に受け入れる体制が整備されている。 ・「高等学校英語力向上事業」において、英語母国語話者による講演会を実施している。
		基準値	71	目標値	100	最終目標値	100	年度	H28	H29	進捗率	
〔指標の説明〕 姉妹校との生徒の交流会や外国人による講演会など国際理解教育に関する取組を行っている公立高等学校の割合	根拠計画	政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	82.6	100	100			
	北海道総合計画 北海道創生総合戦略	3(2)B	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	98	-	98			
						達成率	118.60%	-	97.5%			

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可



平成29年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11 - 08
-----	-----------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(2)B	1					A・B指標のみ	<国際理解教育を行っている公立高校の割合【A】> ・各学校において、海外からの留学生や教育旅行を積極的に受け入れる体制が整備されている。 ・「高等学校英語力向上事業」において、英語母国語話者による講演会を実施している。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	1						



(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・ICTを活用した海外高校生との交流事業など計画していた取組を着実に進めているほか、国際的視野を広げ、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を求める社会情勢を踏まえ、北海道のグローバル化に向けた課題等に対応している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	JETプログラムの継続及び拡充、イングリッシュキャンプの充実を図る財源の措置を要望するなどして、施策の実現に向けて進捗している。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	世界で活躍する人材育成推進会議における委員の意見を踏まえ、高等学校英語力向上事業やU-18未来フォーラム事業の改善につなげるなど施策推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・道内の子どもたちが、外国人と交流するなど国際感覚を養う機会を促進するための取組において、関係する部局間で連携した成果が確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	-	
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			（関連する計画等）		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(2)B	・ICTを活用して海外高校生と交流したり、日本において英語話者と話す機会を設定したりするなど、本道における英語教育や国際理解教育の充実を図るための効果的な取組を検討中。	A2422	-	C06401
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11 - 08
-----	-----------	-------	---------

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11 - 08
-----	-----------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> ・U-18未来フォーラム事業の拠点校8校が開催する地区フォーラムにおいて、拠点校の取組の説明や協議等を行い、取組の充実を図っている。次年度は、全道フォーラムを開催し、拠点校の成果の普及を図る。また、高等学校英語力向上事業の指定校10校において、英語話者を講師に迎えて講演会を開催するなど、引き続き、国際理解教育の充実を図る。 (拡充:高校生交換留学促進事業費)	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

# 平成29年度 基本評価調書

施策名

国際理解教育の充実

施策コード

11 - 08

## Action 事務事業評価

### 8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

#### （1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果		0 事業	1 事業	3 事業	1 事業	0 事業	0 事業	2 事業	7 事業	
反映結果		- 事業	1 事業	3 事業	1 事業	0 事業	0 事業	2 事業	7 事業	3 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0533	世界で活躍する人財育成事業	終了	終了
0543	異文化理解・英語力向上事業費	現状維持	現状維持
0544	国際交流推進に係る企画及び調整等に関する事務	現状維持	現状維持
0534	北海道・アルバータ州高校生交換留学促進事業費	現状維持	現状維持
0542	グローバル人材の育成に向けた英語力向上推進事業費	拡充	拡充
0626	帰国・外国人児童生徒等教育推進事業費	縮小	縮小
0627	英語力向上支援事業費	終了	終了